

## 今月号の内容

1. ベルギーの政治・社会動向 .....	1
2. ベルギーの経済・産業動向 .....	3
3. 月例経済指標 .....	4
4. EUの動向   JETRO ビジネス短信より .....	5
5. お知らせ .....	6

### 1. ベルギーの政治・社会動向

#### 1. ブリュッセル首都圏地域、10月1日から不適切なごみの廃棄に罰金

ブリュッセル首都圏では、10月1日から、所定時間外にごみ袋を路上に置くなど、不適切なごみの分別・廃棄に対し罰金が科される。金額は50~100ユーロだが、分別されていないガラスは150ユーロ、電化製品は300ユーロなど、罰金が数千ユーロに達する可能性もある。5月から導入された家庭から出る有機生ごみ（食品残差）の不適切な分別も罰金の対象となる。一部の地域では、有機生ごみを路上に出せる時間が2時間に限定されているが、当局は、夜間のごみ回収の騒音問題を避けるためと説明している。（2023年8月1日）

#### 2. 7月の降雨日数は過去35年間で最多を記録

7月の降雨日数は21日に達し、通常の14.3日を大きく上回り、過去35年間で最多となった。なお、観測史上7月の降雨日数が最多だったのは、1936年に記録された29日。雨の多い7月となったものの、月の平均気温は18.4度と平年並みだった。また、雨の影響で、日照時間は例年203時間強に対し、185時間強と短くなった。（2023年8月1日）

#### 3. 2022年の域内ビール生産量はコロナ禍前の水準に回復、ベルギーは輸出量で第2位

EU統計局（ユーロスタット）の発表によれば、2022年の域内のビール生産量は、アルコール入りビールが343億リットル（ℓ）、アルコール含有量0.5%未満のビール（ノンアルコール含む）が16億ℓとなり、コロナ禍前の水準まで回復した。前年比で見ると、アルコール入りビールの生産量は7%増となり、コロナ禍前の2019年の347億ℓに近い水準に戻った。ノンアルコールビールは、前年比で横ばいだった。生産量が最も多い加盟国は、域内総生産量の22%以上を占めるドイツ（76億ℓ）で、続いて、スペイン（39億ℓ）、ポーランド（37億ℓ）、オランダ（26億ℓ）、フランスとイタリア（それぞれ20億ℓ）となった。輸出を見ると前年に続きオランダ（26億ℓ、アルコール入り）がEUからの輸出全体の27%を占め、ベルギー（16億ℓ）が2位となった。（2023年8月3日）

#### 4. ベルギー、2022年のアイスクリームの輸出で域内5位

EU統計局（ユーロスタット）の発表によれば、2022年の域内のアイスクリームの生産量は前年比5%増、32億リットル（ℓ）となった。生産量が最も多かったのはドイツ（6.2億ℓ）で、フランス（5.9億ℓ）、イタリア（5.7億ℓ）が続いた。他方、域外への輸出量を見ると、前年比2%減の2億5,000キログラム（Kg）となった。輸出量が最も多かった国はフラ

ンス (5,300 万 Kg) で、次いでオランダ (4,200 万 Kg) 、イタリア(3,100 万 Kg)、ドイツ (2,800 万 Kg)、ベルギー(2,300 万 Kg)の順となった。(2023年8月14日)

#### 5 ベルギー国鉄、ブリュッセル南駅周辺環境の改善について政府へ書簡を送付

ベルギー国鉄の最高責任者は、ブリュッセル南駅周辺の治安と清潔さを向上させるよう、連邦政府のモビリティ大臣、内務大臣、サン・ジルおよびアンデルレヒト市長に書簡を送った。南駅は、毎日5万人以上が利用するベルギーで最も利用者の多い駅であり、国際路線の発着駅として、ベルギーを訪れる外国人旅行者の玄関口でもあるものの、駅周辺の治安の悪さが課題となっている。ベルギー国鉄は、周辺地域の環境改善を単独で行うことは資金と能力の面で困難であるとして、以下の2点を求めている。①早急に環境を改善するため、担当組織を立ち上げ、ステークホルダーとの調整を行う。②南駅付近に設置が予定されている警察署を、駅構内に併設する可能性について検討する。(2023年8月18日)

#### 6 ブリュッセル南駅周辺の治安対策で首相府が「調整役」に

ベルギー国鉄のブリュッセル南駅周辺環境の改善についての要望書を受け、連邦首相府は、南駅周辺の犯罪や反社会的行為の問題に対処するための調整を担うことになった。首相府が「調整役」を担うことで、駅とその周辺を管轄する複数当局が、互いに責任転嫁するのを防ぎたい意向だ。ド・クロー首相は、連邦政府の内務省や移民局の代表、運輸相、ブリュッセル首都圏地域政府、駅のあるアンデルレヒトとサン・ジル当局者、ベルギー国鉄の代表者を集め、駅とその周辺状況について議論する会議を開催した。(2023年8月23日)

#### 7 ブリュッセル南駅周辺で、環境改善に向けた大規模作戦を実施

ブリュッセル南駅周辺の治安改善に向けて、数百人の警官が招集され、ゴミの清掃や、不法入国者や指名手配者を含む56人を逮捕するなどの大規模作戦が実施された。現場を視察した連邦政府の内務相は、「ベルギー国鉄の書簡を受け、短期的なものとして、目に見える取り組みを行った。長期的には、持続可能なアプローチとして、貧困、住宅、麻薬中毒、インフラの劣化などの様々な問題に取り組む」としている。(2023年8月28日)

## 2. ベルギーの経済・産業動向

### 1 ベルギー国鉄、2024 年末からブリュッセル–アムステルダム間の運行本数を 2 倍へ

ベルギー国鉄は、2024 年末かブリュッセル及びアントワープとオランダの各都市を結ぶ鉄道の運行本数を 2 倍に拡大すると発表した。現在、ベルギーとオランダを結ぶ列車は 1 日 16 本となっている。新サービスは、高速鉄道専用線を走行し、ブリュッセル・アムステルダム間の約 200 キロを約 2 時間で結ぶ。従来よりも 45 分の短縮となり、国際高速鉄道タリスの代替手段になり得るとしている。これに伴い、ブリュッセル空港からアムステルダムまでの直通サービスは廃止され、ロッテルダム経由となる見込み。（2023 年 8 月 15 日）

### 2 ベルギーの一般家庭のエネルギー価格、周辺国を下回る

電気・ガス規制委員会（CREG）によると、8 月時点のベルギーの一般家庭の年間平均電気料金は 1,170 ユーロとなり、周辺国のドイツ、オランダ、英国よりも安かった。ベルギーを下回ったのはフランスのみ（970 ユーロ）だが、同国では電気価格が規制されているためという。一般家庭の天然ガスの同年間平均料金も 1,284 ユーロと、近隣諸国と比べても安い。CREG はこの理由について、エネルギー価格が卸売価格に直接連動しているため、他国よりも値下がりが多いと説明している。（2023 年 8 月 16 日）

### 3 ベルギーでビデオゲーム産業が急成長

ビデオゲーム連盟の年次報告書によれば、国内のビデオゲーム産業の成長が続いているという。現在、ベルギーでビデオゲームの開発・制作に携わっている企業は、前年から 21 社増え 133 社となり、国内で 1,085 件の雇用（フルタイム）を生み出している。ビデオゲームの生産と開発に携わるベルギー企業の 3 分の 2 がフランダース地域に拠点を置き、雇用の 72%、売上の 82%を占めている。ブリュッセル首都圏には 15 社、ワロン地域には 28 社が拠点を置いている。一方、ベルギーの業界が直面している課題のひとつは、技術者不足だとし、若い人材が他国の企業に引き抜かれることが多いことも、同問題を助長しているという。（2023 年 8 月 23 日）

### 4 STIB、ブリュッセルで利用可能な MaaS アプリの運用を開始

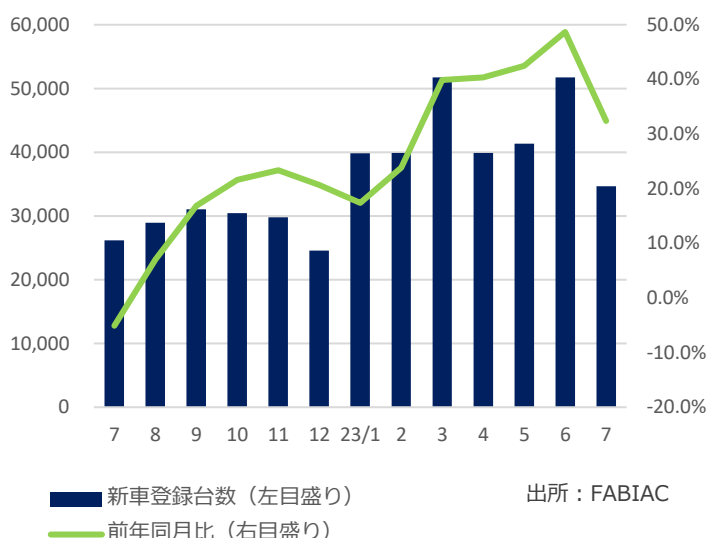
ブリュッセル首都圏交通会社（STIB）は、ブリュッセルで利用可能な移動手段を統合した、次世代型の交通サービスアプリである Floya の運用を開始した。同アプリには、ブリュッセルで利用可能な公共交通機関 4 社（ベルギー国鉄：SNCB、TEC：ワロン地域のバス会社、De Lijn：フランダース地域のバス会社、ブリュッセル首都圏地域のバス・メトロ運営会社：STIB）のほか、Villo（自転車シェアリング）、DOTT（乗り捨て型のスクーターと自転車シェアリング）、TIER（乗り捨て型のスクーターシェアリング）、カンビオ（カーシェアリング）、ポピー（乗り捨て型カーシェアリング）の民間 5 社が参加している。利用者のプロフィールに基づき、最適な利用手段とそのルートや交通費などが表示され、支払いも可能となる。今後は、VOI（スクーター）、BOLT（シェアスクーター・自転車）や Taxis Verts、公共および民間の駐車場運営会社も同アプリに参加する見込み。2024 年末までに約 2 万 5,000 人の登録を目指す。（2023 年 8 月 31 日）

### 3. 月例経済指標

#### 7月の新車登録台数 前年同月比 32.50%増

ベルギー自動車工業会（FEBIAC）によれば7月の乗用車の新車登録台数は3万4,669台（前年同月比32.50%増）で、12カ月連続のプラス成長となった。7月の新車登録台数の68%が企業による登録となり、過半数を占めた。メーカー別では、BMWのシェアが10.74%と最大で、フォルクスワーゲン（10.07%）、アウディ（7.76%）が続いた。（2023年8月1日）

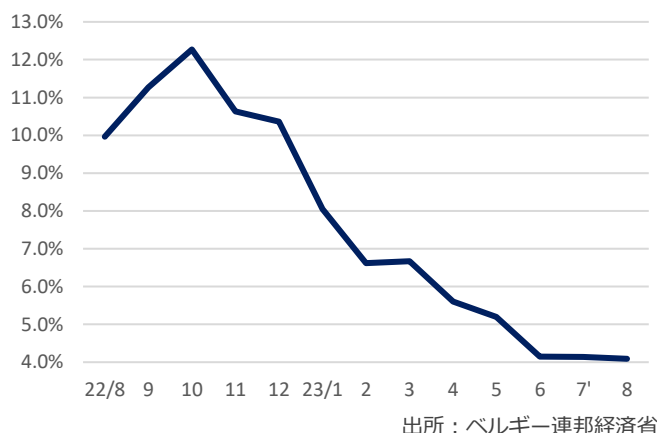
新車登録台数の推移



#### 8月のインフレ率 前年同月比 4.09%上昇

連邦経済省の発表によると、8月の消費者物価指数は前年同月比で4.09%上昇した。燃料、液体燃料、ホテル宿泊料、菓子、パン&シリアル、アルコール飲料、ノンアルコール飲料、国内ツアー旅行、パーソナルケアが押し上げ要因となった。他方、電力、果物、航空券が押し下げ要因となった。上昇ペースの鈍化は5カ月連続。インフレ率の低下は、主にガスと電気価格の低下による。天然ガスは前年同期比で65.2%減、電気は36.2%減となった。一方、暖房用燃料は、前年同期比で35.6%増となった。（2023年8月30日）

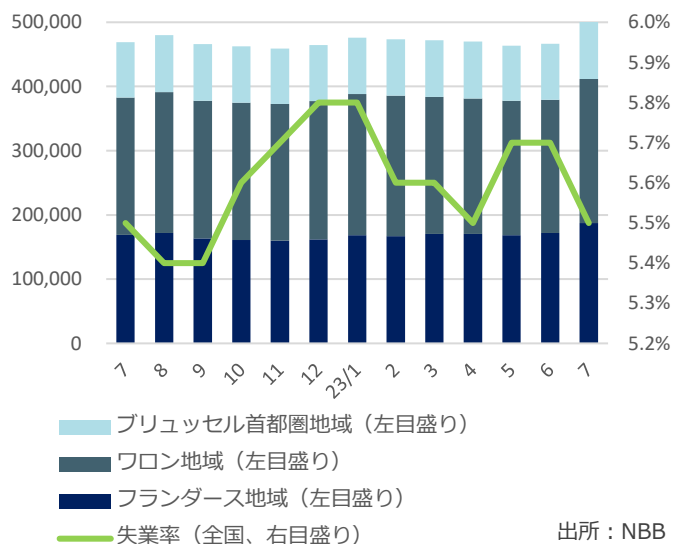
消費者物価上昇率（前年同月比）



#### 7月の失業率 5.5%、前年同月比で横這い

ベルギー国立銀行（NBB）によれば、国内の7月の失業率（季節調整値）は5.5%（前年同期比横ばい）だった。各地域政府が発表した失業率をみると、ブリュッセル首都圏地域の7月の失業率は、前年同期比（以下同じ）0.5ポイント増で15.5%、フランダース地域は、0.6ポイント増で6.4%となった。ワロン地域は、0.6ポイント増の13.8%だった。地域別の失業者数では、フランダース地域が18万7,588人、ワロン地域が22万3,857人、ブリュッセル首都圏地域が8万9,231人だった。（2023年8月5、16日）

失業率と地域別失業者数の推移



※ベースとなる労働力人口の算出方法は地域により異なる。

#### 4. EU の動向 | JETRO ビジネス短信より

(1) EU、域内生産拠点誘致に向けた半導体法案を採択、ドイツなど一部の加盟国に投資集中  
(2023 年 8 月 2 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/ae364e4130d998f1>

(2) EU、整備加速の起爆剤と期待される代替燃料インフラ規則案が成立 (2023 年 8 月 2 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/77100d4ca9d0c94b>

(3) EU、エネルギー効率化指令案を採択、気候変動対策「Fit for 55」関連法案が続き成立  
(2023 年 8 月 2 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/1cccd59ac7ccc89c>

(4) 欧州委、企業持続可能性報告指令 (CSRD) に基づく欧州持続可能性報告基準 (ESRS) 委任規則案を  
発表 (2023 年 8 月 3 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/22fd5bdfe711692d>

(5) EU、ルーマニアの強制的電子インボイス制度を承認 (2023 年 8 月 9 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/df2f4ce9a99295dd>

(6) 電池のライフサイクル全体を規定するバッテリー規則施行 (2023 年 8 月 21 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/8c1881cdd8bc5842>

(7) 欧州委、2023 年 10 月開始の CBAM 規則移行期間に向け、実施規則採択 (2023 年 8 月 23 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/4115b47cab102435>

(8) 欧州委のグリーン・ディール政策総括、ティーマーマンス執行副委員長が辞任  
(2023 年 8 月 24 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/6aa634a41b30c483>

(9) 世界の政治・経済日程 (2023 年 9~11 月) (欧州) (2023 年 8 月 31 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2023/08/1c0fcdd64397db64.html>

★次のページにレポート・イベント等のお知らせがあります。

## 5. お知らせ

### ★メールマガジン「ジェットロ EU トピックス」のご案内

ジェットロ・ブリュッセル事務所では、EU の最新情報や欧州域内のジェットロ各事務所が実施するセミナー情報などをお届けするメールマガジン「ジェットロ EU トピックス」を配信しています。配信日は毎月第 1 木曜日を目安としています。配信を希望される方は、以下のようにお申し込みください。

(1) 欧州域内にお住まいの方：以下の必要事項をご記入の上、ジェットロ・ブリュッセル事務所 ([belinfo@jetro.go.jp](mailto:belinfo@jetro.go.jp)) までお申し込み下さい。

①お名前とご所属先（英文・和文）、②お住まいの国名、③送付先メールアドレス

(2) 欧州地域以外に在住の方：以下の URL からお申し込みください。

[https://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/be\\_brussels/mail.html](https://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/be_brussels/mail.html)

※内容についてなど、ご質問などございましたら、ジェットロ・ブリュッセル事務所 ([belinfo@jetro.go.jp](mailto:belinfo@jetro.go.jp)) までお問い合わせください。

### 調査レポートのご案内

- 地域・分析レポート「[EU の炭素国境調整メカニズム \(CBAM\) に備える](#)」 (2023 年 8 月)
- 地域・分析レポート「[経済安全保障規制の将来、企業の取り組みは](#)」 (2023 年 8 月)
- 調査レポート「[欧州の EC 市場に関する調査](#)」 (2023 年 8 月)
- [ジェットロ世界貿易投資報告 2023 年版](#) (2023 年 8 月)
- 地域・分析レポート「[新車登録数が 1995 年以降で最少更新、EV 車は 3 割へ \(ベルギー\)](#)」 (2023 年 8 月)
- 地域・分析レポート「[乗用車生産が再び上昇傾向へ \(チェコ\)](#)」 (2023 年 8 月)
- 地域・分析レポート「[自動車生産と新車登録、ともに増加 \(ルーマニア\)](#)」 (2023 年 8 月)
- 地域・分析レポート「EU、グリーン水素の供給と活用に野心」 (2023 年 6 月)
  - ・第 1 回：「[供給目標と財政支援](#)」
  - ・第 2 回：「[需要喚起と環境整備策](#)」
- 地域・分析レポート「[改正続く EU 『混合食品』規制、日本産食品の輸出可能性を探る](#)」 (2023 年 6 月)
- 調査レポート「[サプライチェーンと人権](#)」に関する政策と企業への適用・対応事例 (改訂第八版) (2023 年 6 月)

★次のページにもお知らせがあります！★

## ルクセンブルク・ビジネスミッションのお知らせ

ジェトロ・ブリュッセルは、ルクセンブルクのイノベーション・投資促進機関である Luxinnovation および商工会議所と連携し、ビジネスミッションを派遣します。

欧州の中心に位置するルクセンブルク。人口わずか 60 万人強の小さな国ですが、その戦略的な立地と、開放的な経済政策・投資環境、充実したインフラ、高度人材の獲得のしやすさなどを理由に、「欧州ビジネスのエントリーポイント」として、近年は外国企業の進出や、スタートアップの起業が増えています。外国企業はなぜルクセンブルクを欧州拠点とするのか、その理由を実感頂けるよう、企業・施設視察や、現地経済界のキーパーソンらとのネットワーキングなど充実したプログラムを予定しています。ぜひご参加ください。

- 日時：2023年11月27日（月）～29日（水）
- 訪問都市：ルクセンブルク
- 参加費：無料（現地までの渡航費、宿泊費、食費等は参加者の負担となります）
- 定員：10社程度
- 対象：ルクセンブルクでのビジネス（現地企業との連携含む）に関心のある中堅・中小企業、スタートアップ
  - \* 大企業の方はご相談ください。
  - \* 産業に限定はありませんが、スマートシティ、モビリティ、ICT、ヘルステック等で欧州進出をお考えの企業の皆さまに特にお勧めのプログラムです。

[詳細・ルクセンブルク概況] [https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/\\_Events/beb/Luxmission.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Events/beb/Luxmission.pdf)

[お申込] <https://www.jetro.go.jp/events/beb/04a1a05c6c5ac924.html>

## ベルギー日本人会商工委員会ビジネスセミナー案内送付のお知らせ

ベルギー日本人会商工委員会と JETRO ブリュッセル事務所は、EU の政策動向、欧州各国の政治・経済情勢、労務・法務・会計等の制度情報など皆様のビジネスに関連するテーマを題材にしたビジネスセミナーを年に 4 回程度開催しています。日本人会会員企業の方は無料で本セミナーにご参加いただけます。案内状の送付を希望される方は、[belinfo@jetro.go.jp](mailto:belinfo@jetro.go.jp) までメールアドレスをご連絡ください。

## ベルギー拠点設立に関する専門家相談サービスのご案内（法務・労務・税務）

JETRO ブリュッセル事務所では、ベルギーに拠点設立を検討されている企業様、または進出後まもない企業様を対象に、弁護士・税理士等によるコンサルテーションサービスを提供しています。2 時間まで無料をご利用いただけます。ぜひご活用ください。

※原則として中堅・中小企業を対象としていますが、大企業も対象とできる場合があります。詳細はお問合せください。

### サービス詳細・お申込み

<https://forms.office.com/r/MDqXipfgZf>

お問合わせ先 | ジェトロ・ブリュッセル事務所 ([belinfo@jetro.go.jp](mailto:belinfo@jetro.go.jp))